

平成 23 年 12 月 7 日

長野県知事

阿 部 守 一 様

長野県議会 県政ながの

平成 24 年度当初予算に対する要望書

本年は東日本大震災、ヨーロッパの金融不安から始まった円高など直接本県の経済、雇用に影響を及ぼし、不安定な政治状況なども加え県政運営が非常に難しい時代になりました。しかし、このような時代にあっても、県民が明日の長野県に信頼と希望を持てるような県政運営を行うことが、県行政に求められます。知事はじめ執行部各位におかれましては、県民の期待に応え、希望に向けて力強いリーダーシップを発揮されるよう強く要望するものであります。

つきましては、次の事項は私ども会派の重点テーマに沿い、県勢発展のため必要不可欠な事項ですので、実現を図っていただきますよう格段のご努力をご期待申し上げます。

県政ながの 24年度当初予算 要望

<総合行政関係>

- 新たな中期総合計画について、従来の中期総合計画の総括を行い、時代背景を的確に把握するとともに、長期的な長野県の将来像を見据え、県民が信頼と希望を持てる県政の推進を行うため、審議会の意見を聞くことに止まらず、広範に情報を集め、意見を聞くように努めること
- 新総合計画の政策を実現するための、目的に沿った行政組織改革とすること
- 地方の活性化が国の発展につながることから、地方の声を的確に政策に反映出来るように、地方分権、税源移譲を国に積極的に働きかけること
- 地域戦略会議の位置づけを明確にすることと、関連して「地域発元気づくり支援金」の活用の充実を図り、本年度予算と同額以上を確保すること
- 行財政改革の推進について、行財政改革の着実な実施と共に、県民サービスの低下にならぬよう県民要望の高い事業の実施に向けた財源確保に取り組むこと
- 新設して二年になる健康福祉部の内部機構の融合など、県庁内の各組織改編が当初の趣旨を実現できているか、再検証されたい
- 新しい税徴収システムの検証と財源確保の充実を図られたい
- 発電事業の民営化を見直しについては、国の動向や将来にわたっての運営基盤に関わる諸問題を充分検討した上で慎重に判断すること
- 女性の積極的登用と人材育成を強化すること

<個別行政関係>

1. 人口減少・超少子高齢社会への対応について
- 女性の社会進出をより一層強力に進めるとともに、働きやすい環境づくりに努めること
 - 中山間地域の小規模集落維持・再生への取り組み支援を充実すること

2. 経済・雇用対策と産業支援について

- 県立四年制大学設置について、運営主体、学部学科の選定が県内私立大学と専門学校経営や看護大学、福祉大学校など県立の学校運営等にも大きな影響を及ぼしかねないことから、これら関係者の意見を良く斟酌するとともに県内の人材養成に貢献できるよう進めること
- 厳しい雇用情勢の中、新卒者や失業者に対する雇用対策をより一層充実させるとともに、ニート、フリーターなど若者の職業的自立を支えるパーソナルサポートモデル事業の充実を図ること
- 県内産業振興のための人材育成のため、中期総合計画に工科短期大学校の南信地域への設置を位置づけ、積極的に推進すること
- 技能五輪・アビリンピックの成功に向けて支援を充実すること、及び、真の目的である技能五輪以降の技術者の養成、育成施策を充実すること
- 諏訪圏工業メッセは県内外の企業の参加が進み、海外取引への展開も見せていることから全県の産業振興の核と位置づけて発展するよう確実な支援を行うこと
- 企業、製品開発、サービスの国際展開が進む中、中小企業の国際競争力を支援するため、国際標準の情報提供、知的財産権の有効活用、海外企業との提携へのサポートなどを充実すること
- 「観光振興基本計画」の策定にあたり、長期的長野県の展望を視野に入れ、自然、景観、農業、商業、はじめ長野県の観光資源との連携を充実し、広く県民、県外・海外旅行者などの意見聴取すること
- インバウンドに際し、取り掛りとして海外代理店と提携しつつ、県内にモデル地区を選定し、そこを核として長野県の観光地の宣伝ができるよう、関係各位の合意形成に努めること
- 北陸新幹線の長野以北延伸を視野に、北陸地域との広域連携を推進するとともに、県内の広域連携を充実すること

3. 未来へつなぐ夢ある農山村づくりについて

- 県内産農産物の海外展開を視野に、量的競争力の強化策よりも質的競争力の向上を目指し、市場競争力強化に取り組むこと
- 有害鳥獣被害対策については、国の理解を得て、広域協力により効率的な捕獲、駆除ができるよう被害対策支援を引き続き充実するとともに、県内の希少な動植物への影響も拡大していることから、環境省など関係省庁へも強力に働きかけること
- 青年新規就農者が定着できるような、農商工連携による持続可能な農業政策の展開を図ること
- 農業における自然エネルギー活用モデルを広く展開できるよう支援すること
- 「長野県食と農業農村振興計画」の最終年度となるが、次なる計画に反映するため、関係各団体などと総括と目標につき広く意見を交換すること
- 森林づくり県民税を継続すべく、過去の実績を分析、評価するとともに、県民理解を得るべく周知をはかること
- 県産材の有効活用と次代につながる利用促進のため、林務部と建設部が共同して施策の充実をはかること

4. 長野県の美しい環境の保護について

- 長野県の特徴を生かした太陽光、水力発電など自然エネルギーの実用化に向けた技術開発など民間組織や県民の取り組みに対して積極的支援を行うこと
- 放射性物質の監視管理の充実と放射性物質混入の廃棄物処理に適切に対処すること
- 県民の放射能、原子力に関する理解を深め、的確な判断ができるよう学習機会を提供すること（教育委員会と共同して）
- 上流に位置する水環境保全県として、その象徴である諏訪湖、野尻湖など、湖沼の水質保全、改善を着実にすすめ成果が上がるよう取り組むこと

5. 輝く瞳の子どもたちを育て守るために

- 「子どもの権利条例（仮称）」の制定に関して、子どもの成長過程での様々な課題を広く捉え、引きこもりなどの現代社会の問題に若い世代の内に善処できるものとなるよう、県民、市町村、関係機関等と十分に意見交換をすること
- 学力と体力と道徳力の向上を目指して、子供達にも解りやすい授業内容となるよう工夫し、教師の指導力を向上する研修に更に取り組むこと
- 地域と学校とが相互協力の上、地域連携を積極的にし、学校家庭生活を支援するための施策を実施すること
- 職業高校の整備、機器などについては変化する時代の要請に合った整備を行うこと
- 発達障害児の早期発見システムの確立をめざすこと
- 県内観光振興にも資することから各部と連携して冬季国体をはじめとする各種スポーツ大会を積極的に誘致するよう取り組むこと

6. 誰もが不安なく生活できる医療・福祉施策について

- 新たな「長野県保健医療計画」に健康長寿の視点を充実し反映すべきこと
- 医師、看護師確保の更なる取り組みと、地域医療の充実をはかること。特に看護師については、福祉施設等を含めニーズが高まっていることから、人材の育成と確保に強力に努めること
- 障害者および発達障害者の自立生活を支援するため、自立支援、就労支援の取り組みを一層推進すること
- 高齢者が住み慣れた地域で自立生活できるよう、介護保険制度の確実な運営と地域での医療的ケア、リハビリ体制を整備すること
- 子どもの脳脊髄液減少症について実態調査をするとともに、治療に対する保険適用がされるよう取り組むこと

7. 社会資本整備と災害に強い、安全な県土づくりについて

- 広い県土において県内の移動が均衡あるものにしていくために、北陸新幹線の長野以北延伸にともなう並行在来線の充実やリニア中央新幹線の長野県駅を中心とした在来線、高速道路、松本空港などとのアクセスの整備を積極的に推進すること
- 松本空港の利用促進（発着時間延長など）のため、周辺自治体、住民との相互理解を深めること
- 社会基盤に係る修繕、補強、維持管理の重要性が増していることから、これに応えるため維持費の増額をはかること
- 改善要望を聞き取り、入札制度の改革を引き続きすすめるよう努めること。
- 住宅、施設等の耐震補強を効果的に進める施策を充実すること
- 長野県北部地震の被災地に対する支援体制を強化し、より速い復興をはかること
- ゲリラ豪雪に対応できるような緊急除雪体制の強化をはかること
- 「地域防災計画」の修正にあたり、原子力発電所事故への対応、放射能、放射性物質への対応、液状化の予測と防災など新たな課題につき行政責任の範囲を定めるとともに、県民への啓発、訓練などの充実を盛り込むこと
- 消防団及び消防団員の維持、発展のための施策を充実すること
- 高齢者の事故が多発していることから、関係諸団体と連携して啓発活動を充実するとともに、建設部と協力して交通事故対策施策を充実すること
- 老朽化がした交番、駐在所は早期に改築をすすめること